

科目名	IT&メディアA	科目コード	1545	単位数	2
担当者名	佐藤 千歳	開講セメスター	第1セメスター	開講年次	1年次
授業の方法	講義	実務経験	無		

● 授業のねらい

現代社会は、テレビや新聞といったオールド・メディアと、インターネット上の新しいメディアがせめぎ合う状況にあります。最新の新聞やインターネットの記事を教材に、現代社会におけるメディアの役割を考え、メディアの読み取り方（メディアリテラシー）やメディアを活用したコミュニケーション能力を身につけます。

● 到達目標

インターネットの普及に至るまでのメディアの歴史を把握する。  
インタビューの実践を通じ、多様な価値観を他者に伝えるコミュニケーション能力を身につける。

● 授業内容

- 1週目 「メディアリテラシー」とは何か
- 2週目 オールドメディア(新聞・テレビ)の歴史と特性
- 3週目 インターネットの歴史と特性
- 4週目 事例：「働き方改革」とメディア
- 5週目 メディアのグローバル化とローカル化
- 6週目 調査学習「人を描くについて」：テーマを決める
- 7週目 人を描く：資料を集める
- 8週目 人を描く：誰に、なにを聞くか？
- 9週目 人を描く：語り手にどう向き合うか。
- 10週目 人を描く：「キャラ」や口癖まで伝える記録
- 11週目 人を描く：伝わる文章を書く
- 12週目 人を描く：調査結果を共有する
- 13週目 グループディスカッション；「誰に、何を聞くか」とメディアリテラシー
- 14週目 グループワーク：短編ノンフィクションの比較
- 15週目 発信者の視点から考えるメディアリテラシー
- 16週目 プレゼンテーションと調査学習の講評。やむを得ず16週までの内容を実施できなかった場合は補講授業

● 準備学習(予習・復習)等の内容

新聞とインターネットのニュースサイト2種類を選び、ニュースに触れる時間を毎日つくってください。  
予習・復習の時間を確保し、調査学習の準備やまとめの作業を行ってください。授業で作業の進展状況を毎回確認します。  
講義の資料はコースパワー（Course Power）にアップしますので、確認を欠かさないでください。

● 成績評価の方法・基準

授業中の質問・コメントの頻度と内容（約20%）、プレゼンテーションまたはレポートの内容（約40%）、および調査学習の内容（約40%）を総合して評価します。

● 履修上の留意点

新聞報道についてプレゼンテーションを行い、受講生同士でディスカッションを行います。  
プレゼンテーション、レポート、調査学習は、毎回の内容について、評価できる点と改善点を個別に講評します。

● 課題に対するフィードバックの方法

プレゼンテーション、レポートともに履修者間のピアレビューと教員による個別の改善指導を返却時に行います。

● テキスト

野村進『調べる技術・書く技術』（講談社）740円  
本テキストはIT&メディアBと同じテキストを使用します。

● 参考書

沢木耕太郎『凍』新潮社

● 更新日付

2020/02/26 08:58